

3 先端設備等の導入を行う場所の住所

A工場：東京都練馬区〇-〇-〇

4 先端設備等が事業者の事業の改善等に資することの説明

既存設備では、高性能エンジン部品年間生産量が9,495トンである。また歩留り率は95%に留まっている。当社はこれらの抜本的な改善を目指すため、このたび、最新のプレス機械、油圧ハンマーの導入により時間あたり生産量を年間20%向上させることで売上拡大を図るとともに、フォーシングロール導入により歩留り率を4%改善し、99%とすることを旨とする。

先端設備等が、どのように事業の改善等に寄与するかという内容を記載する。
(例えば、生産量・販売量の増加や製造原価・販管費の削減の内容等を説明。)

5 設備投資の内容（必要に応じて別紙）

| | 取得年月 | 設備等の名称/型式 | 所在地 | 設備等の種類 | 単価(千円) | 数量 | 金額(千円) | 用途 |
|---|---------|----------------|--------|--------|--------|----|---------|-----------|
| 1 | 令和5年12月 | プレス機器/PR123-45 | 東京都練馬区 | 機械装置 | 40,000 | 1 | 40,000 | 高性能エンジン製造 |
| 2 | 令和5年12月 | 空調設備/HM4321 | 東京都練馬区 | 建物附属設備 | 15,000 | 1 | 15,000 | 同上 |
| 3 | 令和6年3月 | 測定機器/FR21-2 | 東京都練馬区 | 器具備品 | 45,000 | 1 | 45,000 | 同上 |
| 計 | | | | | | | 100,000 | |

6 基準への適合状況

別紙